

4 地球温暖化に対してできること

(5) 再生可能エネルギーの活用（緩和策）

社会…日本の地域的特色と地域区分
理科…科学技術と人間技術…エネルギー変換の技術

太陽光や風力など、自然界に存在し、いつまでも利用できるエネルギーを再生可能エネルギーといいます。再生可能エネルギーは、環境を汚すおそれが少ないという特徴があります。

各地域には、太陽、風、河川、廃棄物など多様なエネルギー源が存在しています。それぞれの地域の特徴に合わせたエネルギーを「地産地消」することは、安価で安定的なエネルギーを供給することにつながります。

■ 再生可能エネルギーの県内での導入・事業化の例



■ 藤波ダム（うきは市）

ダムの放流水を活用した小水力発電の導入

■ 瑞梅寺ダム（糸島市）



■ 社会教育総合センター（篠栗町）

県の施設（社会教育総合センター）の屋上を利用して太陽光発電パネルを設置

■ バイオマスセンター「ルフラン」（みやま市）

生ごみやし尿を発酵させてできたガスを利用して発電



<調べてみよう>



自分たちの住む地域の近くでは、どのような再生可能エネルギーが利用されているかを調べて、その施設がそこにある理由を、自然環境に注目して説明しよう。

(例)

私たちの住む〇〇市には、風力発電が数多く設置されている。その理由は、〇〇地域では1年中強い風が吹くからだと思う。

(記入欄)



<話し合ってみよう>



自分たちの住む地域に新しい施設を作るとしたら、どのような場所にどのような施設をつくればよいと思うか、その理由とともに考えよう。また、気をつけておくべき点についても考えよう。

(例)

◇ 新しい施設

私たちの住む〇〇市には、〇〇の水路を利用して水力発電する施設を作るとよいと思う。

◇ 理由

特に〇〇地区には、農業用水路が多くあるため。

◇ 気をつけておくべき点

大雨で増水したときにどうするかを考えておく必要がある。

(記入欄)

